

学校経営方針

1. 学校教育目標

「自主・自律・共創」
コ・クリエイト

～社会や人とのつながりの中で、自らを律し主体的に学び、
共に未来を創造する生徒の育成～

2. めざす生徒像

「多様な価値観を認め合いながら、主体的に学び合い、新しい価値を創造する生徒」

- ・いのちを大切にし、他人の良さや違いを認め、共に尊重しあう生徒
- ・よりよい人生や社会の創造をめざし、主体的に共に学び続けられる生徒
- ・優しさと思いやりを持ち、自分につながるすべての人と共に感動する生徒
- ・自らを律しルールを守り、共にやり抜くことを大切にする生徒

小中一貫教育「子どもの本気」

- ① 私たちは、自らみんなに挨拶し、気持ちのいい行動をします。
- ② 私たちは、思いやりのある行動をし、相手を大切にします。
- ③ 私たちは、どんな困難も受け入れて、その困難を乗り越えます。

3. めざす教職員像 「互いに学び合い高め合う教職員」

- ・すべての教育活動において、生徒を中心に行動できる教職員
- ・授業を大切にし、生徒に学ぶ喜びを与える教職員
- ・健康維持に努め、常に自己研鑽を積み、互いに学び高め合う教職員
- ・教育公務員としての使命感と社会的責任感を持ち、子どもや保護者から信頼される教職員

4. めざす学校像 「地域と共に改革を続ける学校」

- ・生徒の命を守りきる学校
- ・生徒が「行きたい」と思う学校
- ・教職員が誇りを持てる学校
- ・保護者や地域が自慢にできる学校
- ・秩序があり安心安全で美しい学校
- ・地域と共にある学校

小中一貫教育「大人の本気」

- ① 大人がすすんであいさつを交わし、人とのつながりを大切にします。
- ② 大人がルールやマナーを守り、正しい行動をとります。
- ③ 大人が目目の前の子どもたちを徹底的に大切にします。

5. 学校経営方針

「地域の公立中学校としての使命を自覚し、教育者としての自覚を持って、
全教職員が協働し社会に開かれた学校教育を推進する。」

「つながり」の中で、「心を重ねる」ことを大切にした教育、
一人ひとりの子どもへの愛情、教育への情熱、誇りと使命を奮い立たせ、意欲と活力に満ちた教育、
やり抜く力をもち、将来、学び続けられる人を育成する教育を実践する。

学校経営「5つの柱」(令和4年度「学校教育の重点」より)

「いのち」～子どもの命を守りきる～

「よりそい」～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～

「つとめ」～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める～

「広がり」～カリキュラム・マネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を実現する～

「つながり」～校種間連携・接続により子どもを支える～

(1) 学習指導(確かな学力)

社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善、主体的に学びあい、新しい価値を創造する力を育む。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の習得と、言語活動の充実をめざし、教科主任会・教科会を十分に機能させ、授業を積極的に改善する。
- ② 家庭学習の充実、生徒の「やる気」を起こさせる課題の開発と共に、GIGA スクール構想を計画的に推進する。
- ③ 身につけた知識・技能の活用をめざし、課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力」を育成するための学習活動を積極的に取り入れる。
- ④ 生徒一人ひとりのニーズに応じた指導を徹底し、生徒一人ひとりの力を着実に伸ばす。
- ⑤ 「学習確認プログラム」「全国学力・学習状況調査(4月実施)」等の結果をもとに生徒の学力の実態を分析して、指導計画の工夫・改善に心がけ、生徒が自ら学ぼうとする姿勢を培う。
- ⑥ キャリア教育の視点に立ち、「総合的な学習の時間」のねらいや学習内容を明確にし、探究力・課題解決能力を育成する。
- ⑦ 読書指導(朝読書の継続)・図書館教育の充実(図書室を利用した授業)を図る。

(2) 生徒指導

望ましい人間関係づくりの場を意図的に提供することで、すべての生徒の自己有用感を育み、積極的な生徒指導を推進する。

- ① 組織的な生徒指導を行うために校内生徒指導体制を組み、SCや関係機関等との連携を大切にしてい、生徒をチームで、指導する。
- ② 総合育成支援教育への理解を深め、家庭と学校が一体となって個に応じた適切な指導を実践する。
- ③ 家庭訪問やこまめな連絡を大切にし、保護者・生徒との信頼関係を築き上げる。
- ④ 学級、学年、生徒会、部活動等の組織経営は、指導法の共通理解を徹底し、長期的な展望を持って計画的に指導を行う。
- ⑤ 生徒会活動の更なる活性化を目指す。(リーダー育成、自治能力・課題発見・解決能力の向上)
- ⑥ 体罰をはじめ不適切な指導の根絶と忍耐強い指導を心掛ける。また、教職員及び学校の危機管理能力を高める。

(3) **豊かな心**

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念等も踏まえ、多様な価値観を認め、互いに尊重し合い助け合う教育の推進。豊かな感性・情操を育む教育に取り組む。

- ① 道徳教育の充実。よりよく生きるために、自己を見つめ、物事を広い視野から考えて、生き方について考えを深める道徳教育の目標を理解し、適切な評価を行う。
- ② 支え合い高め合う集団づくりの推進・多様性を理解する姿勢の涵養・学校教育のあらゆる場面で「命を大切にし人権を尊重する心」を育む。人権学習プログラムの充実を図る。
- ② 小学校や地域とも協働し、教育課程の中で全ての子どもの自己有用感を育む積極的生徒指導に取り組む。

(4) **健やか教育(健やかな体)**

安全教育の充実・食に関する指導の推進と、基本的な感染症対策の徹底に向け、教職員・生徒の意識化を図る。

- ① 新たな感染症に対して教職員が最新の知見をもとに感染症を理解し、生徒が感染症のリスクを自ら判断しそれを踏まえた行動がとれるよう、感染症対策と教育活動の推進の両立に取り組む。
- ② 教科・領域活動、生徒会活動、体育学習および運動部活動、保健指導等を連動させることで「保健教育」「食教育」をより効果的に推進する。
- ③ 基本的生活習慣の確立に努め、本校生徒の課題に応じた具体的取組を強化する。
- ④ 学校教育全体を通して計画的に安全教育・防災教育・飲酒・喫煙・薬物に関する指導を展開する。

(5) **学校環境**

子どもに必要な居場所や取組を提供できる「子どもを育む環境」を整える。

- ① 学校予算の有効な執行や節約を心がける一方、感染症に対して必要な対策が講じられるよう取り組む。
- ② 物品等の整理・廃棄を推進し、美化に努め、安心安全で活動の意欲が高まる教育環境を整える。

(6) **社会と共にある学校づくり**

地域の一員としての意識づくり、安心して安全な社会づくりに貢献する意識を高める取組を推進する。

- ① エリア校長会・担当者会(教務・生指・研究・生徒会)の定例化、連携の取組を通して義務教育9カ年を見通した子どもの育ちを推進する。
- ② 各種便りやホームページを活用して、学校の情報を積極的に外部に発信する。
- ③ 学校運営協議会との連携により学校経営に外部の視点を入れ、外部資源の活用を図る。
- ④ 地域の各種団体との連携により、地域とのネットワークを充実させ、地域ぐるみの教育を推進する。